

花巻といえばハンドボール



初出場にもかかわらず果敢にシュートを決める宮野目小の選手

大会は県内のスポーツ少年団三チームと、宮野目小が参加。一試合六分で、六試合戦った。同校は四、五年生の希望者十五人でチームを結成した。監督の山岡勝利教諭の「大きな声で、基本動作をしつかり」とのアドバイスを受け、すべての試合を優勢に展開。パスカットやジャンプシュートなども飛び出し、会場を沸かせた。

結果は見事全勝。同校の優秀選手にも選ばれた青木翔君(五年)は「うまくパスが回り、シュートが決まった時がとても楽しい」と笑顔。応援に駆け付けた佐々木繁夫校長も「体全体を動かし、家族で楽しめるスポーツ。この活動がさらに広

宮野目小 さっそう

県スポーツ少年団交流会

県ハンドボールスポーツ少年団交流会(県教委主催)は七日、花巻市花巻町の市民体育館で開かれた。種目の普及を目指す花巻ハンドボールキャラバンの初回実施校として、昨年十二月から指導を始めた同市の宮野目小も初めてオープン参加し、六戦六勝の快挙。保護者や指導者も喜びに沸き「これを機に、多くの市民に親しまれるスポーツとして定着してほしい」と期待する。

初陣ながら6戦全勝



初出場で見事全勝し喜ぶ宮野目小チーム

がるよう協力したい」と喜んだ。花巻市は、県が進める地域シンボルスポーツ推進事業と連携してハンドボールの普及に力を入れている。昨年十二月に、市内の全小中学校に簡易ゴールとボールを配備した。

各校に、授業でハンドボールを取り上げるよう呼び掛けたところ、宮野目小が初回キャラバン実施校として授業で指導を受けるなどして、積極的に取り組んだ。市ハンドボール協会事務局で、普及活動に励む中島昭博花巻北高教諭は

「県の推進事業の指定は二〇〇五年度まで。その後も自主的に活動が盛り上がるよう、みんながハンドボールに親しむ機会を増やしたい」と意欲を燃やす。